

国立研究開発法人国立環境研究所  
契約監視委員会（第21回）議事概要

1. 日時

令和3年6月18日（金） 13:30～15:30

2. 場所

ウェブ会議にて実施

3. 出席者（委員（敬称略、五十音順））

天野 玲子（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

加藤 暢一（国立研究開発法人国立環境研究所 監事）

西山 温（古賀総合法律事務所 弁護士）

野村 豊弘（日本エネルギー法研究所 理事長）

古米 弘明（東京大学大学院工学系研究科 教授）

4. 開会

議事に先立ち、是澤理事から開会挨拶を行った。

5. 議題

(1) 前回議事概要の確認について

(2) 令和2年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和3年度調達等合理化計画（案）について

(3) 国立研究開発法人特例随意契約の導入について

(4) 令和2年度下半期の随意契約の状況について（抽出審査1件）

(5) 令和2年度下半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて（抽出審査1件）

(6) その他

6. 議事

(1) 前回議事概要の確認について

事務局より資料に基づき説明が行われた。

(2) 令和2年度調達等合理化計画に対する自己評価及び令和3年度調達等合理化計画（案）について

事務局より資料に基づき説明が行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

- アンケートにより業者から得た競争不参加理由の回答の中で、仕様書にどの業務が主要部分か明記してほしいというものがあるが、新規参入者にとって、何が主要なのか把握したいというのは理解できる場所である。仕様書の研究目的や購入目的において、国立環境研究所として重視するところを分かりやすく記載する等、検討の余地があると思われる。

(3) 国立研究開発法人特例随意契約の導入について

事務局より資料に基づき説明が行われ、特例随意契約の導入について承認された。

#### (4) 令和2年度下半期の随意契約の状況について

令和2年10月1日から令和3年3月31日までに契約締結した案件のうち、随意契約案件(27件)について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。

○抽出審査1(令和2年度 N02カラム量計測システム 1式)

➤ 特段の指摘事項なし。

#### (5) 令和2年度下半期の一者応札・応募等事案のフォローアップについて

令和2年10月1日から令和3年3月31日までに契約締結した案件のうち、前年度(複数年契約を行っている案件については前回契約)に引き続き一者応札・応募となった案件(5件)について審議が行われた。なお、事前に抽出された1件については担当者へのヒアリングが行われた。委員からの主な意見は以下のとおり。

○抽出審査2(令和2年度新規POPsモニタリングによる廃棄物処理施設調査業務)

➤ 今回応札した一者の他にも実施可能な者がいくつかあることを承知していたにも関わらず一者応札という結果になったとすれば、国立環境研究所として一者応札を回避するための更なる努力をするべきであった。また、多くの同種法人が会員登録しているような業界団体に対して情報提供が可能であれば、それらを活用することも考えられるのではないか。

(→複数業者への声掛けや情報提供については引き続き実施する。その中で、関係団体の利用可能性についても検討していきたい。)

#### (6) その他

- ・ 次回の委員会は概ね半年後に開催予定。
- ・ 結びとして事務局より、議事概要及び一者応札・応募等事案フォローアップ票について、委員の確認及び承認後に国立環境研究所ホームページにおいて公表することを報告した。

以上